

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 13 日

事務事業名		大和スポーツ公園管理運営事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 020402000089	
総合計画の施策名		O204 生涯スポーツ活動の振興				単独		090501	
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり				主要事業		所属課	
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				市長マニフェスト		スポーツ振興課	
手段名		02 ②快適な施設利用の推進				未来PJ事業		グループ	
		②快適な施設利用の推進				合併建設計画事業		スポーツ振興G	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目						単年度繰返し (昭和58年度~)			
会計 款 項 目 事業 細						一般会計			
01 10 06 02 11 00						体育施設管理事業(大)			
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市民がスポーツを楽しめるよう大和スポーツ公園を管理運営する事業である。遊具の点検、除草作業の委託、修繕等を行っている。 昭和58年4月の開始当初は、軟式野球、ソフトボールが盛り上がり、利用日数、利用率も高かったが、平成25年度途中より、スポ少サッカー部が毎週土日祝日グラウンドを使用している。グラウンド内の除草や簡易修繕は依頼している。また、地元団地の公園として子どもたちの遊び場としても利用されている。	遊具の点検・除草作業・トイレ汲み取り業務の委託 簡易な環境整備の実施 使用許可申請書の受付、許可書の交付

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
遊具点検・除草作業・簡易トイレ汲み取り委託 利用者からの申請書の受付・許可書発行		遊具保守点検回数		回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		利用可能日数		日	297.00	308.00	300.00	300.00	300.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民		人口		人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
大和スポーツ公園を利用して、スポーツを楽しんでもらう。		利用者数(申請書に基づく延べ人数)		人	1,978.00	4,200.00	4,500.00	4,500.00	4,500.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

				28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0		0
		県支出金	千円	0	0	0		0
		地方債	千円	0	0	0		0
		使用料・手数料	千円	0	0	0		0
		その他	千円	0	0	0		0
		一般財源	千円	79	127	1,089		1,089
	事業費計(A)	千円	79	127	1,089		1,089	
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			
	述べ業務時間	時間	23.00	30.00	30.00			
	人件費計(B)	千円	67	88	88			
トータルコスト(A)+(B)		千円	146	215	1,177			

		29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
事業費の内訳	11 需用費	32		11 需用費	36		
	12 役務費	6		12 役務費	10		
	13 委託料	89		13 委託料	107		
				15 工事請負費	886		
				16 原材料費	50		
				合計	127	合計	1,089

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		30年度の事業内容		31年度の事業内容		32年度の事業内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 							

事務事業名	大和スポーツ公園管理運営事業	事務事業No.	20402000089	所属課	スポーツ振興課
-------	----------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 旧大和村で、昭和58年4月に大和スポーツ公園を建設したことに伴い、施設の管理運営が開始された。使用不可の遊具を平成24年度に撤去した。また、公園近くの桜の枝が大きくなり、危険箇所の枝の伐採を平成24年度に行った。敷地の一部を地区のリサイクル資源の集積所として貸与している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 遊具等は年々腐食が激しくなっており、事故が起こらないよう修繕に努めなければならない。
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている
目的妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がない
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 余地がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 最低限の費用で維持管理している。遊具等は年々腐食が激しくなっており撤去の方向での検討が必要である。
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑦ コスト削減優先度評価結果 ⑥

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
--	---